

夏も感染症

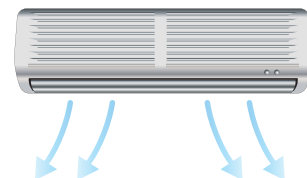


感染症とは、病原体が体に侵入して、症状が現れる病気のことをいいます。病原体は大きさや構造によって細菌、ウイルス、真菌、寄生虫などに分類されます。病原体が体に侵入しても、症状が現れる場合と現れない場合とがあります。

夏場でも感染症に罹るの？

感染症は、空気が乾燥する季節に流行します。

しかし、夏場でも睡眠が十分に取れない、食欲がない等生活習慣が乱れることによる免疫力の低下、空調設備による空気の乾燥等、環境による条件によって夏場でも感染症に罹りやすくなります。



夏に流行しやすい感染症

- 手足口病
- 咽頭結膜熱
- 溶連菌感染症
- 流行性角結膜炎
- 感染性胃腸炎
- RSウイルス感染症 など

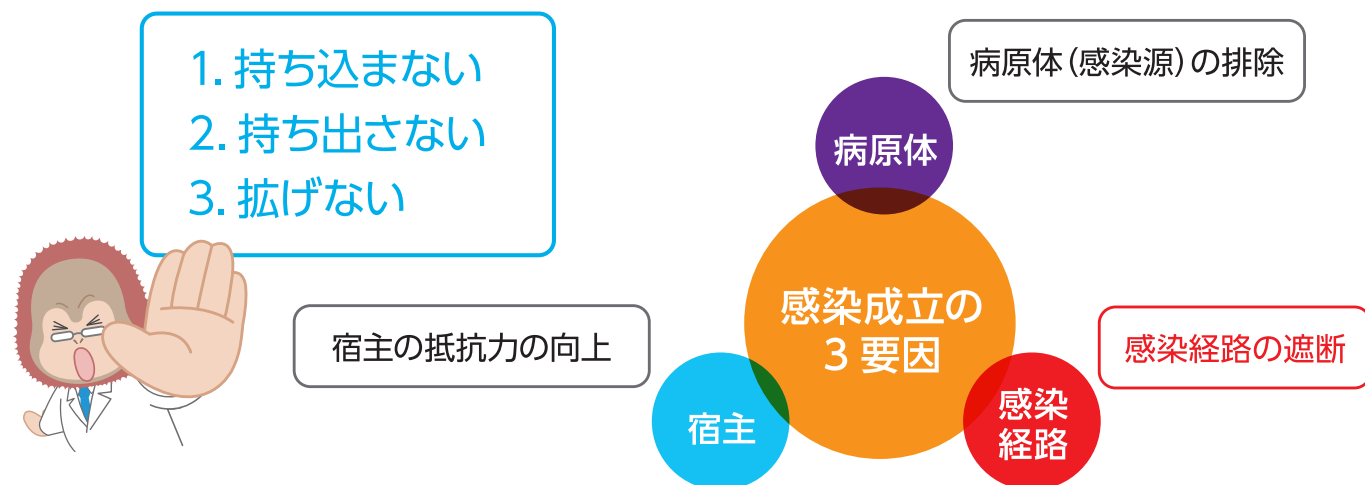


感染成立の3要因と感染対策

感染症は ①病原体（感染源）②感染経路 ③宿主 の3つの要因が揃うことで感染します。

感染対策においては、これらの要因のうちひとつでも取り除くことが重要です。

特に、「感染経路の遮断」は感染拡大防止のためにも重要な対策となります。



厚生労働省：新型コロナウイルス感染症の予防 https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00094.html

<https://www.mhlw.go.jp/content/000501120.pdf>

国民の皆さまへ 関連情報（(新型コロナウイルス感染症) | 厚生労働省 (mhlw.go.jp)

厚生労働6月号 特集 (mhlw.go.jp)

■感染経路の遮断①

新型コロナウイルスは飛沫感染と接触感染により感染しやすいといわれています。

接触感染の中でも細菌やウイルスなどの病原体が付いている手で口、鼻、目などの粘膜を触ることによって、病原体が体内に侵入することを「**接触感染**」と言います。

接触感染に注意

新型コロナウイルスの感染経路として、飛沫感染のほか、**接触感染**に注意が必要です！

人は「**無意識**」に**顔**を触っています！

1時間に
平均 23 回



そのうち、目、鼻、口などの**粘膜**は、約 **44 パーセント** を占めています！

■感染経路の遮断②

日常生活の中で気を付ける感染対策の一つとして、手洗いが大切です。

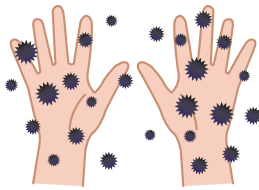
手洗いを丁寧にやることによって手に付着した病原体を十分に減らすことができます。



手洗いのすすめ

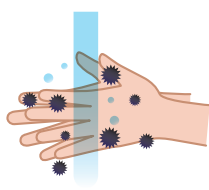
●水とハンドソープで、ウイルスは減らせます！

約 100 万個



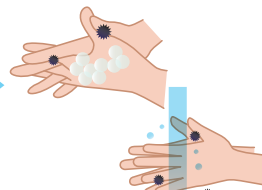
手洗いなし

約 1 万個



流水で 15 秒すぎ

約 100 個



ハンドソープで 10 秒
もみ洗い後、
流水で 15 秒すぎ

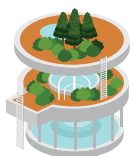
約 数個



ハンドソープで 10 秒
もみ洗い後、
流水で 15 秒すぎ
を 2 セット

(参考文献) 森功次他：感染症学雑誌 .80:496-500(2006)

手洗いの 5 つのタイミング



公共の場所から
帰った時



咳やくしゃみ、
鼻をかんだ時



ごはんを食べる
前後



病気の人の
ケアをした時



外にあるものに
触った時